第７回 セミナー・ワークショップ
開催レポート

令和５年度 中小企業サイバーセキュリティ対策継続支援事業

第７回セミナー・ワークショップ概要

令和５年 11 月 14 日（火）、東京都主催の「中小企業サイバーセキュリティ対策継続支援事業」の第７回セミナー・ワークショップが開催されました。
第７回セミナーでは、セキュリティ対策のアプローチに焦点を当て、異なる３つのレベルから実施手順を解説しました。参加者は LV.1 の迅速な対応方法、LV.2 の体系的な対策基準策定、LV.3 の ISMS フレームワークによる組織全体のセキュリティ対策を学び、実践的なスキルを身に付けました。

ワークショップは、第７回から第９回までの３回にわたり、インシデントハンドリングの演習を行います。初回となる今回は、事前準備となる、インシデント対応計画の策定を体験します。この演習を通じて、実践的な知識を深め、セキュリティへの対応能力向上を目指します。

開催日時
令和５年 11 月 14 日（火）13 時 00 分～17 時 30 分

場所

東京都新宿区西新宿 1-22-2　新宿サンエービル 7F
JR・私鉄各線「新宿駅」西口・南口より　徒歩 5～8 分

<お問い合わせ先> 中小企業サイバーセキュリティ対策継続支援事業運営事務局　※当事業は東京都より委託を受け、アデコ株式会社が運営しています。

TEL：0120-138-166　MAIL：ade.jp.cybersecurity@jp.adecco.com

令和5年度中小企業サイバーセキュリティ対策継続支援事業

第７回セミナー内容

テーマ　**組織として実施すべき具体的な対策事項・手順**
【実施手順・実施者マニュアルレベル①】

講師：星野 樹昭（ほしの しげあき）氏

【具体的手順の作成（LV.１ クイックアプローチ/LV.２ ベースラインアプローチ）】
（セミナーテキスト 第 12 章）

今回のセミナーでは代表的な３つのアプローチから実施手順を作成する方法について解説します。
最初のセクションでは、「LV.1 クイックアプローチ」と「LV.2 ベースラインアプローチ」に焦点を当てます。クイックアプローチでは、実際のセキュリティインシデント事例を参考にした対策基準と実施手順の策定方法を学びます。これにより、迅速な対応が可能となります。一方、ベースラインアプローチでは、ガイドラインや資料を参考にした、より体系的な対策基準の策定方法を学びます。

【ISMS の要求事項と構築（LV.３ 網羅的アプローチ）】（セミナーテキスト 第 13 章）

次に、「LV.3 網羅的アプローチ」では、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）のフレームワークを基に、体系的かつ網羅的なセキュリティ対策の策定方法を学びます。このアプローチを通じて、組織全体のセキュリティ体制を強化する方法を理解できるようになります。

本セミナーでは、各アプローチの概要説明に加え、リスクアセスメントの実施、対策基準の策定、実施手順の作成など、実践的な内容も取り上げます。また、情報セキュリティ関連規程（IPA）の活用方法や、ISMS における組織の状況分析、リーダーシップの重要性、計画の立案、支援、運用、パフォーマンス評価、そして改善プロセスについても詳しく解説します。

このセミナーを通じて、参加者はセキュリティ対策の策定から実施、評価に至るまでの一連のプロセスを理解し、自社のセキュリティ体制を強化するための知識とスキルを身に付けることができます。

※セミナーで使用したテキスト等資料は、以下の本事業 Web サイトで公開しています。

https://security-keizoku.metro.tokyo.lg.jp/

セミナー参加者の声

- 内部監査とマネジメントレビューについて学びました。これまでの取り組みに新たな視点が加わり、今後の改善に生かせそうです。
- 情報セキュリティ対策文書の重要性を学びました。具体的な作成ポイントを知り、実践に生かす準備が整いました。
- PDCA サイクルの目的を理解し、ドキュメント作成の重要性に気づきました。今後は目的を明確にして効果的な運用を心掛けます。
- フレームワークを活用した対策策定方法や ISMS の網羅的アプローチについて理解を深めました。
- 実施手順とフレームワークの適切な活用方法を理解しました。これに基づいて実務に役立てます。
- 実施手順作成と ISMS の PDCA サイクルへの組み込み方法を学びました。これを実践し、セキュリティ対策を効果的に進めます。
- 情報セキュリティの運用と PDCA サイクルの回し方について学習しました。組織全体で実践していく方針です。

第７回ワークショップ内容

テーマ　**インシデントハンドリング（事前準備）～ インシデント対応の準備ができるようになる ～**

セキュリティ対策において、セキュリティインシデントへの対応が重要です。第７回ワークショップでは、有事に備え、適切な対応を確保するための方針（インシデントレスポンスポリシー）に基づいたインシデント対応計画を作成しました。

■ワークショップの流れ：

1.　講師より本日のワークショップについて説明（10 分）

2.　グループディスカッション（85 分）

仮想企業のインシデントレスポンスポリシーを基に、インシデントレスポンス計画を策定しました。

3.　グループ発表と講師からのフィードバック（30 分）

ワークショップは A～E の合計 5 チームで実施し、各グループは検討の過程や結果をスクリーンへ投影しながら発表を行いました。講師は適切なフィードバックを提供し、優れた点に対して称賛を述べつつ、さらなる向上のための専門的アドバイスも行いました。

インシデントハンドリングとは？

インシデントマネジメントの要素の一つにインシデントハンドリングがあります。インシデントハンドリングは、検知/連絡受付、トリアージ、インシデントレスポンス、報告/情報公開の要素で構成されています。（図 1）

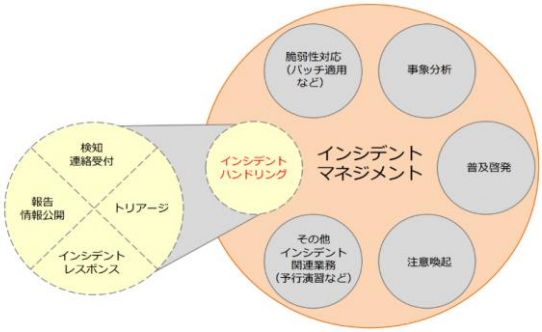

図 1
引用：JPCERT/CC インシデントハンドリングマニュアル

インシデントレスポンス（インシデント対応）とは？

インシデントレスポンスは、①準備　②検知・分析　③封じ込め・根絶・復旧　④事後活動のサイクルが循環しています。（図 2）準備の段階でインシデントレスポンスポリシーおよびインシデントレスポンス計画の策定をすることが重要です。

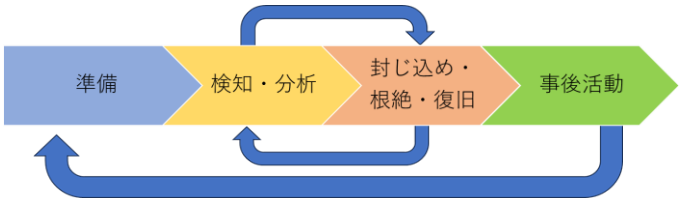

図 2
インシデント対応のライフサイクル（出典：NIST）

ワークショップ参加者の声

- **インシデントの対応計画を策定するきっかけに**
  「今回のワークショップを通じて、実際のインシデントにどのように対応するか、計画を立てる重要性を理解しました。」
- **インシデント対応について、異なる視点を考慮する必要性を認識**
  「自社のインシデント対応が限定的だったことに気づき、法務や広報など他の側面も考慮する必要があると感じました。」
- **インシデント対応計画の策定方法を体験**
  「ワークショップを通じて、具体的な計画策定の手順を実践的に学べました。」

＜お問い合わせ先＞ 中小企業サイバーセキュリティ対策継続支援事業運営事務局　※当事業は東京都より委託を受け、アデコ株式会社が運営しています。
TEL：0120-138-166　MAIL：ade.jp.cybersecurity@jp.adecco.com

令和5年度中小企業サイバーセキュリティ対策継続支援事業

- **具体的にイメージできてよかった**
  「ワークショップでのディスカッションを通じて、具体的なインシデント対応のイメージがわきやすくなりました。」
- **インシデント対応の準備に必要なドキュメント作成の概要を理解**
  「インシデントレスポンスポリシー並びに対応計画のドキュメント作成方法について理解を深めることができました。」
- **インシデントに対する考え方**
  「インシデントへの適切なアプローチや考え方について学び、新たな視点を得ました。」

運営事務局より編集後記

11 月になり、朝晩の寒さが一段と厳しくなっています。夏の猛暑から季節が変わりつつある光景が、街路樹の葉の色づきから感じられます。

第 7 回セミナー・ワークショップへご参加いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

セミナー・ワークショップはますます具体的で実践的な内容となり、参加者の皆様は講師の話を真剣に聞き、意欲的に学ばれています。ワークショップでは、進行、書記、発表の役割を担った方々の主体的な関わりによって、各グループから様々な意見や考察が引き出されました。

当事業は、セミナー・ワークショップの開催やセミナー資料の Web サイト公開などを通して、引き続きセキュリティ対策に関する情報の普及・発信に努めてまいります。

運営事務局一同

11 月の風景 『微かに色づくイチョウ並木』

次回（第８回）セミナー・ワークショップのご案内	**日時**：令和 5 年 11 月 28 日（火）　13 時 00 分～17 時 30 分 **会場**：東京都新宿区西新宿 1-22-2　新宿サンエービル 7F **テーマ**：組織的対策と人的対策 【実施手順・実施者マニュアルレベル②】

本件に関するお問い合わせ

中小企業サイバーセキュリティ対策継続支援事業運営事務局
TEL：0120-138-166
受付時間：平日 9:00～17:00（祝日を除く）
メール：ade.jp.cybersecurity@jp.adecco.com
URL：https://security-keizoku.metro.tokyo.lg.jp/
Facebook: https://www.facebook.com/cys.keizoku